

公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会



連合会だより

Vol.34



七ヶ宿滑津大滝

CONTENTS

● 新会長あいさつ・連合会定時総会開催	2
● 新役員名簿・安全就業優秀優良全国表彰	3
● 新任理事長・事務局長紹介・決議文要請	4
● 高齢法第39条業務拡大に係る知事指定、高齢者活躍人材確保育成事業、安全就業への取り組み	5
● わがまちのセンター 「亘理町シルバー人材センター」	6~7
● シルバーを支える職員奮戦記「色麻町シルバー人材センター」、「角田市シルバー人材センター」	8
● 「新型コロナウイルスのシルバー人材センターへの影響とこれから」・おすすめの本	9~10
● 令和元年度県内シルバー人材センター事業実績（請負委任・派遣）	11
● 県内シルバー人材センター一覧	12

会長挨拶



公益社団法人
宮城県シルバー人材センター連合会

会長 白川 由利枝

このたび、連合会会长に就任いたしました白川由利枝でございます。

県内各センターの皆様方には、日頃より当連合会の業務運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国は、かつて世界のどの国も経験したことのない超高齢・人口減少社会を迎える生きを寿ぐ一方、社会保障費の増大や労働力不足が大きな課題となっております。政府が昨年まとめた「全世代型社会保障検討会議中間報告」では、「元気で意欲あふれる高齢者が、その能力を十分に発揮し、年齢にかかわりなく活躍できる社会を創る必要性」が指摘され、私どもシルバー人材センターへの期待が一層高まっているのを実感いたします。

こうした期待に応え、多くの方々に年を重ねても元気でいきいき働き続けていただきたいためにも、会員の拡大が重要であり、連合会では平成30年度に第2次中期計画を策定し、3年間で15%増という目標を掲げ、皆様と連携して取り組んでまいりました。おかげさまで全国ではこの10年ほど減少傾向が続く中、7年連続の増となり、令和2年3月末で11,820人。あと一息で東日本大震災前の会員数を回復するところまできております。これも偏に皆様のご努力の賜物であり、日々のご労苦に敬意を表し、心より感謝申し上げます。

本年2月から、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行が発生し、県内においても学校の休校や公民館等公共施設の休館措置が取られたほか、お祭りやイベントが次々中止に追い込まれ、民間事業者や個人の活動も大きく制約されています。シルバー人材センターの請負・派遣事業も、契約件数・金額が減少となり、対前年同月比でマイナスになるセンターが続出するなど大きな影響を受けました。今後もしばらくはこの傾向が続くと思われますが、全センターと連合会が連携し、この困難を乗り越えてまいりたいと存じます。このような状況下にあっても、行政から委託を受けて学校の消毒作業を実施したり、不足していたマスク作りに取り組まれたセンターがあつたことは、シルバー人材センターの地域貢献として大きく評価され、会員のやりがいや誇りの醸成につながつたものと改めて感謝いたします。

本年度は、新型コロナウイルス感染症に配慮し、例年とは異なる事業展開を余儀なくされておりますが、適正就業や安全就業の徹底に取り組み、会員の皆様が元気に楽しく就労していくよう努めてまいる所存です。皆様方には、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連合会定時総会開催

去る6月11日、令和2度定時総会がホテル白萩において開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症への対策から、各センターからの出席者を1名のみとし、また、来賓もないという少し寂しい総会となりました。谷口秀樹会長からの挨拶の後、センター理事長退任者の感謝状の贈呈がありました。

議長には(公社)白石市シルバー人材センターの佐藤英雄理事長が選任され議事に入りました。第1号議案「令和元年度事業報告(案)」及び第2号議案「令和元年度収支決算(案)」について一括で事務局から説明があり、監査報告の後、審議の結果、原案通り全会一致で承認可決されました。

次に第3号議案「連合会第12期役員選任承認の件」について、審議の結果、原案通り全会一致で承認可決されました。最後に「令和2年度事業計画」及び「令和2年度当初予算」について、事務局から報告がありました。

議案

第1号議案 令和元年度事業報告承認の件
第2号議案 令和元年度収支決算承認の件
第3号議案 連合会第12期役員選任承認の件

令和2年度事業計画

【令和2年度 連合会事業計画の基本方針 重点項目】
シルバー人材センターの創設理念である「自主・自立・共働・共助」を念頭に各センターと連携の下、以下を重点として、事業展開を行う。

1. 安全就業の推進
2. 会員数の拡大
3. 適正就業の徹底
4. 就業機会の拡大
5. 高齢法第39条に基づく業務拡大
6. センター未設置地域の解消
7. (仮称) 第3次中期計画の策定

公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会役員名簿 (任期：令和2年6月11日から令和4年度定時総会終結時)

理 事 (12名)

役職名	氏 名	所属及び役職名
会 長	白 川 由利枝	公益社団法人仙台市シルバー人材センター理事長
副 会 長	鶴 沼 功	公益社団法人登米市シルバー人材センター理事長
専務理事	齋 繁	公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会事務局長
理 事	佐々木 桂一郎	公益社団法人大崎市シルバー人材センター理事長
理 事	木 下 捷 一	公益社団法人美里町シルバー人材センター理事長
理 事	菊 地 良 大	公益社団法人東松島市シルバー人材センター理事長
理 事	引 地 榮 五	公益社団法人塩釜市シルバー人材センター理事長
理 事	佐 藤 庄 司	公益社団法人七ヶ浜町シルバー人材センター理事長
理 事	金 須 研	一般社団法人大郷町シルバー人材センター理事長
理 事	佐 藤 孝 夫	公益社団法人名取市シルバー人材センター理事長
理 事	村 上 侃 彦	一般社団法人村田町シルバー人材センター理事長
理 事	赤 松 儀 郎	公益社団法人亘理町シルバー人材センター理事長

監 事 (2名)

役職名	氏 名	所属及び役職名
監 事	亀 山 伸 一	公益社団法人石巻市シルバー人材センター理事長
監 事	大 友 忠	公益社団法人松島町シルバー人材センター理事長



令和2年度は宮城県から登米市シルバー人材センターが優良賞を受賞しました。全国で25団体が表彰されました。

今後とも「安全は全てに優先する。」という心構えで、安全就業に努めて行きましょう。

**受賞
令和2年度
安全就業優秀。
優良シルバー人材
センター全国表彰**

県内センター新任理事長・事務局長の紹介

理事長8名 事務局長7名 計15名

(令和2年度(令和元年度中途を含む))

公益社団法人
仙台市シルバー人材センター

理事長

白川 由枝

就任年月日 令和2年6月4日
座右の銘 以春風接人
以秋霜律己

公益社団法人
気仙沼市シルバー人材センター

理事長

横山 武

就任年月日 令和2年5月30日
座右の銘 和を以て貴します

公益社団法人
名取市シルバー人材センター

理事長

佐藤 孝夫

就任年月日 令和2年6月8日
座右の銘 誠実

公益社団法人
東松島市シルバー人材センター

理事長

菊地 良大

就任年月日 令和元年9月10日
座右の銘 第一步

公益社団法人
七ヶ浜町シルバー人材センター

理事長

佐藤 庄司

就任年月日 令和2年6月5日
座右の銘 人生は楽しく!

公益社団法人
加美町シルバー人材センター

理事長

府田 政之

就任年月日 令和2年5月29日
座右の銘 健幸、共助

一般社団法人
七ヶ宿町シルバー人材センター

会長

小倉 章一

就任年月日 令和2年6月22日
座右の銘 一期一会

一般社団法人
川崎町シルバー人材センター

理事長

小原 迪

就任年月日 令和2年5月21日
座右の銘 一期一会

公益社団法人
岩沼市シルバー人材センター

常務理事兼事務局長

櫻井 隆雄

事務局長就任年月日 令和2年4月1日
常務理事就任年月日 令和2年5月29日
座右の銘 七軒び八起き

公益社団法人
栗原市シルバー人材センター

常務理事兼事務局長

高橋 喜美男

事務局長就任年月日 令和2年6月1日
常務理事就任年月日 令和2年6月17日
座右の銘 万里一空

公益社団法人
東松島市シルバー人材センター

常務理事兼事務局長

村上 修

事務局長就任年月日 令和2年4月1日
常務理事就任年月日 令和2年5月29日
座右の銘 人間万事塞翁が馬

公益社団法人
大河原町シルバー人材センター

常務理事兼事務局長

佐藤 公

事務局長就任年月日 令和2年4月1日
常務理事就任年月日 令和2年6月24日
座右の銘 一生勉強、一生青春

一般社団法人
村田町シルバー人材センター

常務理事兼事務局長

志田 忠夫

事務局長就任年月日 令和2年4月1日
常務理事就任年月日 令和2年6月5日
座右の銘 一つ拾えば一つだけきれいになる

公益社団法人
松島町シルバー人材センター

常務理事兼事務局長

赤間 勝行

事務局長就任年月日 令和2年6月1日
常務理事就任年月日 令和2年5月26日
座右の銘 感謝

公益社団法人
加美町シルバー人材センター

常務理事兼事務局長

岡崎 秀俊

事務局長就任年月日 令和2年4月1日
常務理事就任年月日 令和2年5月29日
座右の銘 創意工夫



宮城労働局長

また8月26日（水）に宮城県庁を訪問し、
千葉隆政経済商工観光部長に決議文を手渡
すとともに、引き
続き宮城県議会を
訪問し、石川光次
議文を手渡しま
した。

令和2年8月21日（金）に白川会長、鵜
沼副会長、齋専務理事が宮城労働局を訪問
し、毛利正労働局長に決議文を手渡しま
した。



宮城県議会議長



宮城県経済商工観光部長

全シ協定時総会における
「決議文」を宮城労働局・宮
城県・宮城県議会に要請

岩沼市		区域
四十七	四十四	業種
倉庫業	道路貨物運送業	K 七十八 その他の運搬・清掃・ 包装等の職業
K 七十八 その他の運搬・清掃・ 包装等の職業	K 七十八 その他の運搬・清掃・ 包装等の職業	(令和2年7月1日付け指定)

村田町	名取市		角田市		区域
八十七	五十六	五十六	九	八十五	一 農業
協同組合	各種商品小売業	各種商品小売業	食料品製造業	社会保険・福祉・介護事業	総合工事業
K 七十八 その他の運搬・清掃・ 包装等の職業	K 七十八 その他の運搬・清掃・ 包装等の職業	H 五十四 製品製造・加工処理の 職業	H 五十四 製品製造・加工処理の 職業	K 七十八 その他の運搬・清掃・ 包装等の職業	K 七十六 清掃の職業

(令和2年4月1日付け指定)

令和2年度は左記の業務・職種について知事指定を受けました。これによつて最大週40時間まで派遣就業できるようになりました。これは企業と会員のニーズに応え、人手不足に悩んでいる地域産業を支援し、地域の振興に貢献していくこうとするものであり、今度も積極的な取り組みを続けます。

高齢法第39条

業務拡大に係る知事指定

高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者活躍人材確保育成事業は、人手不足分野や現役世代を支える分野での就業を促進するため、60歳以上のシルバー人材センターの新規会員を確保し育成する事業です。

令和2年度は県内各地で新型コロナウイルス感染症予防のための対策を講じながら、「技能講習」と「就業体験・職場見学」を計画・実施しています。

さらに、普及啓発活動として、ラジオCM、テレビCM、新聞やフリーペーパーへの広告掲載等を行っています。

安全就業への取り組み

令和2年度上半期の事故発生状況は、9月末時点で請負での事故が168件、派遣での事故が9件であり、そのうち、30日以上の入院事故については、請負において7件発生しています。

事故の内容としては、虫刺されや作業中に転倒し骨折。草刈作業中の刈払機による飛び石、断線、目や腕の負傷などが多く報告されています。幸い、本年度は現在のところ重篤事故（死亡または6ヶ月以上の入院）はありませんが、昨年度（令和元年度）は死亡事故が1件発生しています。

事故の要因としては、防護用具や飛散防止ネット等、安全用具の未使用、確認不足、自身の身体能力への過信などが考えられます。特に、深刻な状態となっている草刈作業中の飛び石事故については、飛散防止ネットやゴーグルの使用などの基本的なルールを守れば防げるものがほとんどですので、必ず励行していただくようお願いします。

○最近の事故発生状況（主要な項目のみ）

事故の内容	令和元年度末	令和2年9月末
虫刺され等	52	49
転倒事故等	54	24
刈払機による事故	64	45

わがまちのセンター

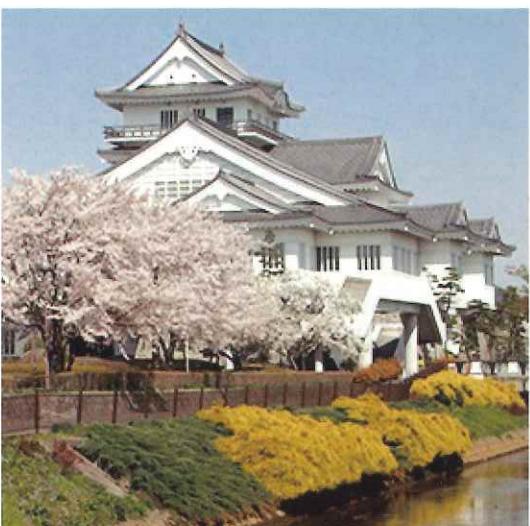
亘理町シルバー人材センター

宮城県南部の太平洋沿岸、阿武隈川の河口に位置する亘理町は、温暖な気候を利用しての果樹・花卉栽培が盛んであり、特にイチゴが名産です。郷土料理のはらこ飯は農山漁村の郷土料理百選にも選出されております。

「また来たくなるまち・ずっと住みたくなるまち」を基本理念にまちづくりに取り組んでいる亘理町。当センターとしても亘理町のまちづくりに微力ながら貢献できればと思っております。

その様な中、近年、急速な少子高齢化の波が訪れ労働力不足が叫ばれております。今こそ「高齢者が持つ知識や経験、能力の活用」が求められシルバー人材センターにも多くの期待が寄せられています。当センターにおいてもそれらの期待に応えるべく、昨年から新たに二つの事業に取り組んで来ました。

まず、一つ目は、昨年10月に亘理町立図書館2階に集いの場、ふれあいサロン「Café♡悠里」を開設しました。そこでは、飲食の提供や会員



Café♡悠里のある亘理町悠里館



草刈作業



農作業（いちご）



特別養護老人ホームでの介護補助者派遣事業

を限定し、時間を短縮して営業しています。また、新たに亘理町役場1階多目的ホールをお借りして、移動販売も始めました。今後は、利用者も就業する会員も笑顔が絶えないカフェの運営ができるることを目指に頑張っていきたい思います。

二つ目は、ますます高齢者が増えていくなかで介護支援事業を実施すべく、町からの委託事業「生活援助サービス事業」と町内の福祉施設を対象とした「介護補助者派遣事業」を開始しました。町からの委託事業は、5月から始まりました。「介護補助者派遣事業」は、8月初旬からモデル事業として、社会福祉法人日就会が運営する特別養護老人ホーム第一日就苑及



亘理町シルバー人材センターの紹介



Café♡悠里オープン



布マスクの製作



Café♡悠里



Café♡悠里
町役場での移動販売

びデイサービスセンター宮前荘に、介護補助者講習や実習を経た会員が、交代で毎日一人ずつ4時間、派遣会員として居室や廊下の清掃、寝具の交換、食器洗いなどの業務を担当しています。施設側の評判も上々で介護人材不足のおり、大変感謝されています。今後は、モデル事業の結果を検証し派遣する事業所を増やすことができればと考えております。

これら二つの取組みにより課題だった会員と就業機会の拡大、特に女性会員が活躍できる場を開拓することができ、さらに労働力不足解消にも貢献できたと思います。

このように新規事業を短期間で実現することができたのは、町当局をはじめ関係機関の皆様

のご協力とご支援並びに会員皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症が拡大しているなか、シルバー事業に及ぼす影響を注視しつつ、感染拡大の防止等に適切に対応しながら、会員が安心して就業できるようこれからも全力でサポートしていく所存です。

亘理町シルバーセンター 介護施設に人材派遣



就労の場拡大「ウィンウィン」

人手不足解消します

派人事務は月初より、社会

所有と接する施設を複数事業者として、コミュニケーション能力を高める講習を受け、スキルを磨いてきた。

佐藤和事務局は、「センターへの依頼は草刈りが多く、女性労働者の雇用難で困っていました。」と説明。この年は、70代の高齢者などが毎日、少しずつ時間を使いつぶして、人材確保をしており、これが年数1ヶ月を推定する。

上の所者の要を採用して、人材確保をしており、これが年数1ヶ月を推定する。

令和2年9月9日
河北新報朝刊

令和2年2月1日
河北新報朝刊

デイサービス喫茶店活用



コーヒーを飲みながら楽しく会話する利用者ら

亘理の社会福祉施設 宮前荘

亘理町の社会福祉法人曰

セントラル宮前荘が、デイ

サービスの活動で地域の喫

茶店を活用している。外出

の機会の少ない高齢の利用

者を案内し、コーヒーを飲

みながら、おしゃべりを樂

しあわせついている。

憩いの場として活用して

いるのは町悠里館内のふれ

あいサロン「カフェ悠里」。

町シルバー・センターが

運営している。

今月に入り、宮前荘の職

員が毎日数人の利用者を連

れて訪問。4日は80代の利

用者一人に職員4人がテ

ーブルを囲み、「店に来る

のは久しぶり」「おいしい

などと語を弾ませ、約1時

間過した。

富前荘のデイサービス利用者は通常午前10に入浴し、午後はゲームや整体按摩などをして過ごすことが多め。私は職員もじっくり話を聞く機会になってしまい、カフェのスタッフが快く受け入れてくれるのですが、「ありがとうございます」と話す。

週1回デイサービスに通

う同町の渡辺さだ子さん

(88)は「一人暮らしでの家

中で過ごすことがほとんど

。みんな飲むコーヒー

はおいしい」と喜んでいた。

来月までに約100人を

カフェに案内する予定。宮

前荘のほか、町内で三つの

デイサービス施設などを運

営する日交会は、サービス

の継続や他の施設との同様

の活動実施も検討する。

シルバーを支える職員奮戦記



一般社団法人 色麻町シルバー人材センター
業務担当

大野 力

就任年月日 平成29年10月1日

センター開所から4年目、前年度達成した国庫補助対象要件を継続するという目標はあります。会員さんは無理のない安全な就業となるように、事前準備を怠らずに勤務しております。

とはいえ今年度は新型コロナウイルス禍という見えない恐怖の中、どうやって安全な就業を守っていくかが課題となりましたが、たくましい会員さんたちは地域貢献のため手作りマスクを作成して販売。屋内清掃班は自己管理を徹底しながら就業先の消毒作業を行い、草刈班は「暑くて苦しい」けど、しっかりとマスクをつけて、笑いながら「ソーシャルディスタンス」を守る。大先輩たちの対応力はさすがだと感心するばかりです。



色麻町SCはまだまだ土台づくりの最中です。会員さん・発注者さんに迷惑をかけながら、そして近隣SCの先輩業務係様方に教えを請いながら、なんとか業務をこなしています。今後ともよろしくお願いします。

昨年、角田市シルバー人材センターの職員として採用され、2年目となります。私は、祖父母と同居していることもあります。シルバー世代が充実した生活を送るためにサポートがしたいと想い、この仕事を選びました。

前職とは異なる業界であつたことと、出産後、久しぶりの社会復帰であつたことで不安もありました。が、事務所の先輩方や会員の皆さんに助けていただきながら、少しでも役に立てるよう日々の業務に取り組みました。だんだんと会員の方に名前を覚えてもらったり、声をかけてもらえるようになり、楽しくて仕事ができるようになつてきました。



公益社団法人 角田市シルバー人材センター
主事

渡邊 早貴

就任年月日 平成31年4月1日



まだまだ未熟者なので、経験を積んで、シルバー人材センターの発展に貢献できることになりたいと思います。

経験を積んで、シルバー人材センターの発展に貢献できることになりたいと思います。

新型コロナウイルスの シルバー人材センターへの影響とこれから

日本国内で新型コロナウイルスの感染が確認された令和2年1月15日から早10ヵ月。新型感染症は瞬く間に世界中を席巻し、社会経済活動は混迷を深めています。

国や地方自治体からの緊急事態宣言の発出や営業自粛要請により、移動の自粛、飲食店や公共施設の閉鎖、スポーツ、コンサートやイベントの中止・縮小など、公共・民間を問わず、様々な活動に大きな影響が及ぶ事態となり、閉所・閉店を余儀なくされる事業者や、働きたくとも休まざるを得ない労働者が数多く生み出されました。

さて、このような中で、シルバー人材センター事業も例外ではなく、これまであつた業務発注の大幅な減少や大きなイベントに係る設営・清掃等のキャンセル、派遣先の営業自粛による休業など、会員が就業できなくなる状況に陥り、取り巻く環境は大きく変化してしまいました。

「請負・委任」に着目すると、被害額が大きいセンターでは数百万円単位の契約の減少や、契約額の前年比3割減などの被害が発生しています。

「シルバー派遣」では、派遣先の営業自粛により休業手当を会員に支給する事態となり、派遣事業を開始してから、順調に伸び続けていた契約額が、初めて前年度を割り込みました。それでも6月の契約額については前年を超える水準まで回復していますが、今後しばらくは、新型コロナウイルスの影響は続いていくものと思われます。

このような中でも、新たな取り組みを行い、地域社会に貢献するセンターも現れてきています。マスク不足の時期に布製のマスクを女性会員が中心となつて手分けして作り、自治体等に寄贈するなどの活動が、県内の多くのセンターで見られました。

また、会員が市内の小学校の教室・机や椅子などを消毒するという仕事を行うことで、子どもたちが安心・安全に勉強できる環境づくりに貢献しています。この仕事には多くの会員が参加しており、さらに、その会員の声掛けにより「子どもたちのために働きたい」と、新たに入会される方もおり、会員数の増加にも繋がっています。この消

続けていた契約額が、初めて前年度を割り込みました。それでも6月の契約額については前年を超える水準まで回復していますが、今後しばらくは、新型コロナウイルスの影響は続いていくものと思われます。

このような中でも、新たな取り組みを行ない、地域社会に貢献するセンターも現れてきています。マスク不足の時期に布製のマスクを女性会員が中心となつて手分けして作り、自治体等に寄贈するなどの活動が、県内の多くのセンターで見られました。

今後のシルバー人材センターの働き方について、会員・事務局職員とともに感染予防に努め、より良い就業方法を模索しながらすすめていく必要があります。

そのためには、感染予防に一歩踏み込んで行きました。

毒作業の取り組みはマスク等でも大きく取り上げられ、県内外のセンターへ波及して行きました。

●県内センター 請負・委任の実績(令和2年4月～6月)

単位：千円

	4月	5月	6月
令和元年度	299,210	398,353	466,762
令和2年度	261,235	319,739	475,484
前年対比	▲12.69%	▲19.73%	1.86%

●県内センター 派遣の実績(令和2年4月～6月)

単位：千円

	4月	5月	6月
令和元年度	66,915	68,825	70,359
令和2年度	65,998	62,349	74,231
前年対比	▲1.37%	▲9.40%	5.50%

だ積極的防御。身体の調子が悪い時は仕事を休む、混雑を避けるために分散移動する、出来る仕事は在宅で行う、可能な限り集つての会議・打合せは回避する、入念な手洗い、多くの人が触れるものは徹底して消毒する、定期的な換気、中で感染者が発生したことには備えて複数の人が業務を担えるようにしておく、数々のIT技術を駆使した安全で円滑な業務環境を整えるなど、これらを確実に実行する必要があると思います。

また、感染予防に対する取り組みと併せて、発注者や派遣先の経営状況を把握しておく、売掛金の回収が困難となったり、派遣契約の中途解約などのリスクを回避するため、契約期間を出来るだけ短くする、発注先・派遣先を多業種多分野に分散するなど、被害を最小限に留めるような対策も必要です。

未曾有の事態となつた今こそ、課題やリスクを的確に分析し、どのように対策を講ずるべきかを検討する良い機会ととらえ、今後に備えていきましょう。



ウイルスバスター隊の活躍
塩釜市シルバー人材センター



マスクを製作している
岩沼市シルバー人材センターの会員

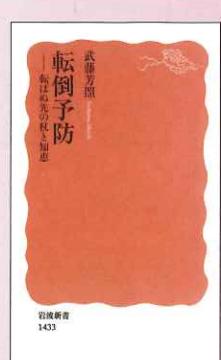
おすすめの本

「転倒予防」

—転ばぬ先の杖と知恵

岩波新書

武藤芳照 著



本来医療・介護系の方への入門書だとと思われますが、転倒事故が頻発しているシルバー人材センターの関係者が読んでも事故防止に役立ちそうな内容です。著者は日本で最初に転倒予防教室を開設した元東京厚生年金病院の整形外科医。東京大学教育学部長、副学長などを歴任しました。

元気いっぱいに働いているように見えるシルバー会員でも免れない高齢者の「転倒」のメカニズムや予防策について平易に解説かれています。

そもそも、歩行することは、その80%が片足立ちの連続技であり、転倒はこの片足立ちという動作が正常かつ円滑にできないために起きる現象ととらえられます。転倒は「すべ

おすすめの本
県内シルバー人材センター事業実績

（井上ひさし）書かれて
いる本だと思います。



る、「つまずく」、「落ちる」といった要因で発生することが多いことから、どのような環境下で行動しているかによって、どんな転倒リスクが存在するのかといったリスクに対する鋭い感性を養うことが大切です。併せて、加齢に伴い衰えていく健脚度について、理解しやすい測定項目を用いて、誰にでも安全かつ簡単に自分自身のからだと能力を知ることで危険を回避することができ、仮に転倒が生じても重篤な外傷を負わずにすむ対策がとれるというものです。

また、転倒は、「濡れたところ」、「階段や段差」、「片づいていないところ」のいわゆる「ぬ・か・づけ」で発生しやすいので特に注意が必要であるとか、日常生活のなかの運動実践法、骨折防止の動作、服薬しているぐすりとの関連、転倒予防7ヶ条、転倒予防いろはかるたなどの転倒を防ぐための実践的対処法や教訓的標語なども多数掲載されていて、会員の皆さんへの教育訓練などの場面で活用できるものと思われます。正しく、「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく（井上ひさし）」書かれて

令和元年度 県内シルバー人材センター事業実績 [請負委任・派遣]

令和2年3月31日現在

センター名	請負・委任					派遣					
	会員数			契約		就業延人員 (人日)	就業率 (%)	契約		就業延人員 (人日)	就業率 (%)
	男	女	合計	件数	金額(円)			件数	金額(円)		
仙台市（計）	1,999	794	2,793	7,459	1,118,101,944	232,031	73.9	147	48,268,837	9,442	55.3
本部	1,358	602	1,960	5,263	725,548,128	149,192	69.6	140	44,909,851	8,837	55.3
北部支部	641	192	833	2,196	392,553,816	82,839	83.9	7	3,358,986	605	—
石巻市	367	98	465	4,035	202,741,188	35,300	88.2	17	39,524,484	7,123	100.0
塩釜市	215	96	311	2,367	131,646,241	25,003	78.1	4	11,053,442	1,829	81.8
気仙沼市	320	104	424	2,095	132,684,599	29,051	84.9	59	13,182,409	3,056	64.7
白石市	189	82	271	2,594	98,662,777	21,868	84.5	62	13,129,532	2,988	100.0
名取市	311	116	427	1,706	196,872,793	43,941	82.9	35	15,174,471	3,998	100.0
角田市	306	169	475	2,431	153,019,233	28,527	65.1	173	64,378,089	11,945	57.6
多賀城市	393	149	542	2,751	94,832,956	21,176	45.4	90	92,758,037	16,499	64.0
岩沼市	343	182	525	1,853	169,191,798	36,288	70.1	67	85,268,891	16,604	100.0
登米市	602	247	849	4,013	282,411,541	51,130	69.4	55	101,671,627	18,120	87.0
栗原市	411	135	546	4,949	252,965,886	46,755	90.1	29	41,554,715	8,427	69.5
東松島市	159	96	255	2,435	122,430,405	28,044	99.2	27	5,899,211	1,103	100.0
大崎市	406	210	616	3,975	395,316,077	78,394	98.7	13	19,111,661	3,064	100.0
富谷市	355	122	477	1,615	143,730,103	28,607	63.9	81	118,904,712	22,504	100.0
大河原町	133	60	193	725	98,831,668	20,250	91.2	41	21,517,064	3,637	100.0
村田町	96	24	120	694	55,169,240	8,517	74.2	46	1,370,833	168	57.9
柴田町	196	80	276	1,471	135,174,293	24,513	92.8	15	13,797,300	2,918	100.0
丸森町	104	59	163	1,187	57,101,313	9,680	80.4	14	3,460,899	392	50.0
亘理町	206	88	294	2,586	146,099,198	32,370	82.3	8	33,370,920	5,762	100.0
山元町	104	51	155	557	52,810,706	11,732	63.3	—	—	—	—
松島町	88	22	110	399	42,270,830	7,457	68.2	0	0	0	0.0
七ヶ浜町	106	44	150	401	51,994,376	8,702	64.0	10	14,894,361	3,016	80.6
利府町	180	46	226	901	69,664,100	14,302	63.3	21	36,846,006	7,168	100.0
大和町	167	76	243	682	68,994,280	12,260	79.4	65	23,507,421	4,115	100.0
大郷町	85	40	125	599	28,858,635	5,640	84.8	16	9,915,770	1,717	82.4
加美町	97	64	161	721	46,270,970	9,615	84.5	2	1,088,159	352	50.0
涌谷町	136	40	176	1,383	74,341,014	11,543	72.2	2	7,298,467	1,706	62.5
美里町	153	58	211	1,964	109,014,357	15,207	94.3	8	6,048,639	1,058	34.5
国庫補助対象団体計	8,227	3,352	11,579	58,548	4,531,202,521	897,903	76.8	1,107	842,995,957	158,711	85.3
七ヶ宿町	19	7	26	88	6,987,414	1,064	84.6	0	0	0	0.0
川崎町	62	45	107	233	16,971,929	3,651	75.7	0	0	0	0.0
色麻町	65	43	108	396	24,562,579	6,748	75.9	0	0	0	0.0
国庫補助対象外団体計	146	95	241	717	48,521,922	11,463	76.8	0	0	0	0.0
宮城県計	8,373	3,447	11,820	59,265	4,579,724,443	909,366	76.8	1,107	842,995,957	158,711	85.3
前年度実績	8,255	3,310	11,565	60,186	4,616,356,988	935,478	78.0	910	679,103,046	132,057	64.1
対前年度比	1.4	4.1	2.2	-1.5	-0.8	-2.8	-1.5	21.6	24.1	20.2	33.1



県内シルバー人材センター一覧

(公社)宮城県シルバー人材センター連合会 TEL 022-712-8855 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18 太陽生命仙台本店ビル4階	(一社)七ヶ宿町シルバー人材センター TEL 0224-37-2231 〒989-0529 刈田郡七ヶ宿町字瀬見原101番地（七ヶ宿町高齢者センター内）
(公社)仙台市シルバー人材センター TEL 022-214-6262 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2（仙台市シルバーセンター6階）	(公社)大河原町シルバー人材センター TEL 0224-52-6800 〒989-1245 柴田郡大河原町字南海道下47番地
(公社)仙台市シルバー人材センター北部支部 TEL 022-375-1370 〒981-3133 仙台市泉区泉中央2-1-1（泉区役所庁舎5階）	(一社)村田町シルバー人材センター TEL 0224-83-6411 〒989-1305 柴田郡村田町大字村田字西62
(公社)石巻市シルバー人材センター TEL 0225-94-3683 〒986-0814 石巻市南中里三丁目14番3号	(公社)柴田町シルバー人材センター TEL 0224-58-7400 〒989-1731 柴田郡柴田町東船迫1-8-1（船迫公民館敷地内）
(公社)塩釜市シルバー人材センター TEL 022-367-5940 〒985-0021 塩釜市尾島町18番17号	(一社)川崎町シルバー人材センター TEL 0224-87-8072 〒989-1503 柴田郡川崎町大字川内字北川原山214番地6
(公社)気仙沼市シルバー人材センター TEL 0226-23-6666 〒988-0073 気仙沼市筈が陣3番5号	(公社)丸森町シルバー人材センター TEL 0224-73-1015 〒981-2152 伊具郡丸森町字鳥屋79番地1（丸森町高齢者生産活動センター内）
本吉支所 TEL 0226-25-7856 〒988-0307 気仙沼市本吉町津谷館岡80-12	(公社)亘理町シルバー人材センター TEL 0223-34-8800 〒989-2351 亘理郡亘理町字旧館61-22（中央公民館内）
(公社)白石市シルバー人材センター TEL 0224-22-1680 〒989-0267 白石市字延命寺北15番地1	(一社)山元町シルバー人材センター TEL 0223-36-9211 〒989-2292 亘理郡山元町浅生原字日向13-1
(公社)名取市シルバー人材センター TEL 022-383-8016 〒981-1224 名取市増田字柳田50-1	(公社)松島町シルバー人材センター TEL 022-353-4505 〒981-0215 宮城郡松島町高城字浜1-3
(公社)角田市シルバー人材センター TEL 0224-63-5112 〒981-1505 角田市角田字錦町23番地8	(公社)七ヶ浜町シルバー人材センター TEL 022-357-6039 〒985-0804 宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺1-1
(公社)多賀城市シルバー人材センター TEL 022-368-2350 〒985-0873 多賀城市中央2-25-1（多賀城市シルバーワークプラザ内）	(公社)利府町シルバー人材センター TEL 022-356-2070 〒981-0104 宮城郡利府町中央2-11-1
(公社)岩沼市シルバー人材センター TEL 0223-24-6678 〒989-2433 岩沼市桜三丁目3-7	(公社)大和町シルバー人材センター TEL 022-345-8850 〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字町裏16番地（吉岡コミュニティセンター内）
(公社)登米市シルバー人材センター TEL 0220-22-8526 〒987-0513 登米市迫町北方字鼠田72-1	(一社)大郷町シルバー人材センター TEL 022-739-9336 〒981-3502 黒川郡大郷町粕川字東長崎31-7
(公社)栗原市シルバー人材センター TEL 0228-35-1777 〒989-5502 栗原市若柳字川南戸の西4（若柳総合支所「多目的研修センター」内）	(一社)色麻町シルバー人材センター TEL 0229-25-3370 〒981-4122 加美郡色麻町四竜字北谷地95番地1
(公社)東松島市シルバー人材センター TEL 0225-86-1097 〒981-0303 東松島市小野字新宮前5（東松島市役所鳴瀬庁舎3階）	(公社)加美町シルバー人材センター TEL 0229-64-2323 〒981-4241 加美郡加美町字南町181-1
(公社)大崎市シルバー人材センター TEL 0229-22-3138 〒989-6171 大崎市古川北町1-1-35	(公社)涌谷町シルバー人材センター TEL 0229-44-1710 〒987-0121 遠田郡涌谷町涌谷字新下町浦188
(公社)富谷市シルバー人材センター TEL 022-779-1388 〒981-3311 富谷市富谷新町95番地（富谷市まちづくり産業交流プラザ2階）	(公社)美里町シルバー人材センター TEL 0229-58-3665 〒989-4205 遠田郡美里町木間塚字高田33

連合会だより 第34号

- ・発行年月：令和2年10月
- ・編集発行：(公社)宮城県シルバー人材センター連合会
TEL (022) 712-8855
FAX (022) 712-8856
- ・印 刷：(株)東北プリント

正月明けとともに新型コロナウイルスに追いや立てられた年でした。本誌も変則的な誌面構成を余儀なくされました。そこで、その様な中にあって、寄稿のお願いに応じていただいた皆さん、大変お忙しい中ありがとうございました。本当にありがとうございます。新型感染症はまだ終息の兆し見えませんが、そのままいった感じで潜んでいました。しかし、これまでの間に多くなりました。そこで、そのためには、今まで以上に慎重に行動する必要があります。そこには、自分自身の行動から始まります。まずは、乗る車両や公共交通機関での移動、外出先での行動など、日々の生活に大きな影響を及ぼすことがあります。そこで、自分自身が感染リスクを減らす方法について、詳しく解説します。

編集後記



この広報誌は、
米ぬか油を使用した環境
配慮型「ライシンキ」で
印刷しています。



この印刷物は、グリーン基準に適合
した印刷資材を使用して、グリーン
プリントインク認定工場が印刷した
環境配慮製品です。
P-B10021



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

